

2025 年 5 月 23 日

報道各位

ニューホライズンキャピタル株式会社

株式会社エスエーティの株式譲渡

ニューホライズンキャピタル株式会社（本社 東京都港区、代表取締役 安東 泰志）が運営するニューホライズン 3 号投資事業有限責任組合（以下総称して「弊社」）は、本日、保有する株式会社エスエーティ（本社 東京都府中市、代表取締役 蔵満茂、以下「SAT」）の全株式をエクシオグループ株式会社（本社 東京都渋谷区、代表取締役 船橋哲也、以下「EXEO」）へ譲渡致しましたのでお知らせします。

SAT はメーカーの保守期間が終了（EOSL）したサーバー・ストレージ・ネットワーク機器等のハードウェア機器を第三者として保守する「延命保守サービス」を主要な事業として展開しております。24 時間 365 日、高度に品質管理された保守部材とオンサイトサービスを提供する万全な体制を構築し、年間 1,600 件以上の保守対応を手掛けるなど、高い技術力に裏打ちされた高品質なサービスで、お客様がハードウェア機器を安定して利用できるよう支援しております。さらに、SAT の事業は IT 機器の利用にかかわる環境負荷を低減することで循環型社会の実現を目指す「持続可能な開発目標（SDGs）」の推進にも大きく貢献しております。

弊社は、今後、SAT が EXEO グループの一員として、これまで培ってきた技術力とノウハウを融合することで、お客様と社会に対し、より高付加価値のサービスの提供が可能になると考えております。

以上

ニューホライズンキャピタル株式会社について

2002年2月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から、2006年10月の会社分割を経て、通算23年超の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額2,700億円超）を有する。現在は、ニューホライズンキャピタルとして6本目、創業から10本目のファンドを運営中。2002年以来、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとするニューホライズンキャピタルのチームメンバーは、フェニックス・キャピタルにおいて、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ等、また、ニューホライズン1号から4号ファンドにおいても多数の投資を実行し、開示可能なエクイティー投資先だけで約50社、全体では100社超の日本随一の投資実績を有する。

この件に関する問い合わせ先（弊社広報担当）：

インターナショナル・ファイナンシャル・コンサルティング株式会社

竹江、大谷 連絡先：03-5532-8921